

2020年度 データヘルス計画（保健事業実施状況）

※特定健診・特定保健指導の実績確定は翌年11月であり、（ ）内の数値は令和元年度または令和2年度見込値

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的 及び概要	対象			事業費 (千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康診査事業	1	特定健診	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 特定健診・定期健診を含む人間ドックを受診	被保険者	全て	40~74	全員	109,566	受診者 16,703人 (R1:98.6%、R2 見込 98.2%) 4~3月実施	平成7年度より事業主と共同で40才以上被保険者に人間ドック受診義務制度を設けた	再雇用初年度の4~6月生が年度2度受診となる	4
	1	特定健診	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 特定健診を含む家族健診、又は人間ドックを受診	被扶養者	全て	40~74	全員	36,264	受診者 5,678人 (R1:93.7%、R2 見込 90.7%) 4~3月実施	平成7年度より事業主と共同で家族健診受診義務制度を設けた	被保険者と比較し受診率が低い	5
特定保健指導事業	3	特定保健指導	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 人間ドック受診健診機関を主に、その他、事業所訪問指導・ICT・健保保健師等で実施	被保険者	全て	40~74	基準該当者	21,669	動機づけ支援 721人、 積極的支援 831人 (R1:30.7%) 4~3月実施	・勤務時間内の実施 ・健保保健師の活用 ・母体医務室で実施 ・特保未契約の契約施設に契約の依頼 ・契約施設に指導実施の強化を依頼 ・ICTの活用	・希望制であり、国の目標55%に対し受診率が低い ・勤務時間中の指導は限定される ・新型コロナで一時停止	4
	3	特定保健指導	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 家族健診の集団健診委託先、又は人間ドック受診先で指導を実施	被扶養者	全て	40~74	基準該当者	1,211	動機づけ支援 86人、 積極的支援 28人 (R1:13.4%) 4~3月実施	・特保未契約の契約施設に契約の依頼 ・契約施設に指導実施の強化を依頼 ・静岡連合会共同事業に参加	・希望制で受診率が低い ・健保予約健診・人間ドック以外では特保の実施が困難	4
	7	メタボ改善案内	[目的] 生活習慣病の自主的改善を促す [概要] ①要特保対象者で対象1回目限定し、冊子等を配付 ②新40才・前年特保該当者に特保案内を個別配布	被保険者	全て	40~74	基準該当者	52	①冊子・特保指導案内発送:被保険者425人 4~10月実施 ②新40才810人、前年特保2,608人 5~3月実施		自主的取組みを促すものであり、成果等の把握が困難	1
保健指導宣伝	4	健康講話	[目的] 生活習慣改善等の知識の拡大 [概要] 健保主催の講話の他、事業所開催の健康講話に費用や資料代を助成	被保険者	全て	18~74	全員	66	申請(実施)2回 1,245人 助成2回 随時	コロナ禍によりEラーニング方式で実施	・事業所の開催依頼が少ない ・新型コロナで開催減	5
	4	機関紙の発行	[目的] 情報発信、健康意識の高揚 [概要] 機関紙「健保だより」を発行	被被扶養者	全て	0~74	全員	69	内部作成で7回発行 886部/回 随時	部門別健康度ランキング等身近な話題を提供し、健康意識を高めた	職場回覧とHPへの掲載のみ	5
	5	ホームページの更新・運用	[目的] 健保制度等の周知 [概要] 法改正やお知らせ、公告等を2つのHPを活用して周知	被被扶養者	全て	0~74	全員	402	母体社内イントラと一般の2つのホームページを更新・運用 4~3月	更新回数の意識的増加	職種により社内HP内の健保HPは見られない	4
	5	制度周知本の配布	[目的] 新入社員に健康保険制度の周知 [概要] 「社会保険の知識」を配布	被保険者	全て	18~28	基準該当者	413	新入社員、及び事業所担当者に配布 3~5月	内容を吟味し、2019年度より冊子を変更	冊子変更によりコストアップになった	5
	5	前期高齢者健診後フォロー	[目的] 重症化予防 [概要] 各種健診後の受診調査	被扶養者	全て	60~74	基準該当者	23	各種健診後の再検調査対象111人(受診率80.2%) 随時(5/17現在)	未受診者には電話による督促を実施	血圧・糖検査での未受診が多い	4
	5	メンタルヘルス推進サポート	[目的] 精神疾患の対応と予防 [概要] 母体精神科産業医の行う相談に費用の一部を助成	被保険者	母体	18~74	基準該当者	218	相談者8人、5か月10.5H 4~9月実施		・母体本社のみ の取組み。 ・利用者が同じ場合がある ・契約終了により停止	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
保健指導宣伝	5	健診後フォロー	[目的] 生活習慣病予防・改善、並びに重症化予防 [概要] 個人面談の他、パンフレット配布、電話相談を実施。ドック結果に基づく健康情報を1月より配布。また各種健診後の受診調査を実施	被被扶保養険者者	全て	18~74	基準該当者	73	個別面談3社93人、パンフレット配布49人、電話相談100人。社員:ドック後再検査対象2,347人(受診率85.9%)、家族:健診後再検査対象524人(受診率79.2%) 4~3月実施(再検:5/17現在)	社員のドック後再検査は、事業主との共同事業であり、グループ方針	スズキ側を除き、事業所単位での取組みが弱い	4
	7	禁煙推進サポート	[目的] 喫煙に伴う関連疾病の削減 [概要] 禁煙外来を受診し、禁煙達成者に費用の一部を助成	被被扶保養険者者	全て	18~74	基準該当者	62	禁煙外来:助成8人/申請7人。事業PRの他、新入社員・特定保健指導配布時等にも広報4~3月実施	期間4~9月を通年に変更(前年度申請分を含む)	タバコ値上時は助成が急増したが、現在は参加者が少ない	4
	7	医療費適正化対策	[目的] 医療費削減 [概要] レセプト点検は、実績のある専門業者に委託	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	1,194	レセプト点検委託:657,054件、年間医療費通知:R1年10世帯、R2年1,067世帯、支給決定通知:3,473部 4~3月実施	ロジック点検は経験値が増え実績がアップ	要配慮個人情報のため、外部への持出し点検を中止	5
	7	共同保健指導宣伝費	[目的] 健保連共同事業分担金 [概要] 健保連が行う広報活動に対する分担	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	1,693	健保連が行う広報活動に対する負担 5月末支払		令和3年度より連合会費にて支払い。廃止	---
疾病予防	1	人間ドック	[目的] 健康状態の確認、並びに疾病の早期発見・早期治療 [概要] 年度1回、誕生日に受診	被被扶保養険者者	全て	40~74	全員	393,518	受診者16,794人(40未満89人含) 4~3月実施	平成7年度からスズキ方針により制度として実施	再雇用初年度の4~6月生が年度2度受診となる	4
	1	家族健診	[目的] 健康状態の確認、並びに疾病の早期発見・早期治療 [概要] 年度1回、集団健診・個人健診にて受診	被被扶保養険者者	全て	40~74	全員	52,355	受診者5,881人(ドック受診1,132人含、内40才未満45人) 4~3月実施	平成7年度からスズキ方針により制度として実施		5
	1	歯科検診	[目的] 口腔内の健康状態の確認、並びに歯周疾患の早期発見・早期治療 [概要] 年度1回、誕生日に受診	被被扶保養険者者	全て	40~74	全員	35,569	受診者11,952人 4~3月実施	平成9年度からスズキ方針により制度として実施	当初のかかり付け歯科医での検診からずれが発生	4
	1	婦人科検診	[目的] 婦人科疾患の早期発見・早期治療 [概要] 希望者に乳癌・子宮癌検診費用を助成	被被扶保養険者者	全て	18~74	全員	7,008	受診者1,349人 4~3月実施	40才以上は、人間ドック受診時に合わせて受診		4
	1	二次検診	[目的] 利便性考慮、医療費削減 [概要] 母体医務室での血液・尿の検査を中心に、検査費用を負担	被被扶保養険者者	母体	18~74	基準該当者	264	受診者122人(被保険者118人、被扶養者4人) 4~3月実施	血液・尿の検査は、勤務時間内に対応が可能	血液・尿を中心とした検査は、母体のみの対応となる	4
	7	家庭用常備医薬品の斡旋配布	[目的] 軽微な疾病は常備医薬品で対応し、医療費削減に繋げる [概要] 応急処置用として常備医薬品を斡旋配布	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	909	購入者:7月8,406人、12月7,446人 7~12月配布	特納品を多く採用し、割安感を出した特別価格商品を用意	乳幼児分は医療費助成で常備薬を購入しない	5
7	ジェネリック医薬品	[目的] 薬剤費削減 [概要] レセプトより、500円以上の切替効果のある方	被被扶保養険者者	全て	30~74	基準該当者	895	通知2,474人、効果額13,750千円 6・10・1月配布	対象年齢・対象疾病の拡大		5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
疾病予防	7	健康表彰	[目的] 健康者へのインセンティブとして実施 [概要] 平成30年4月～平成31年3月の未受診世帯を表彰	被 被 扶 保 者	全 て	40 ～ 74	全 員	247	表彰世帯：243世帯。購入補助券利用95人。未利用者148人にマスク・除菌スプレーを送付 12月配布		常備医薬品斡旋時の購入補助券にしたが 周知不足であ った	4
	7	共同情報処理システム料	[目的] 国への実績報告 [概要] 健保連共同情報処理システムを活用し、特健・特保実績を国へ報告	被 被 扶 保 者	全 て	40 ～ 74	全 員	1,182	特定健診結果、特定保健指導結果を健保連共同情報処理システムを活用し、随時登録 4～3月		令和3年度より雑役務費にて支払い。廃止	---
体育奨励	7	ウォーキング	[目的] ウォーキング習慣の定着と健康度アップ [概要] 職場・事業所単位の6km以上のウォーキングに対し費用を助成	被 被 扶 保 者	全 て	0 ～ 74	全 員	0	なし 4～3月実施対象		・新型コロナで開催なし	1
その他	7	固定施設	[目的] 体位向上、疾病の一次予防、ストレスの発散 [概要] 保有する体育館・グラウンドを利用し、目的を達成する	被 被 扶 保 者	一 部 の 事 業 所	0 ～ 74	全 員	62	・スズキ体育館499人、 ・スズキグラウンド888人、 ・磐田グラウンド0人 4～7月実施	管理・運営を母体に依頼	・利用者が限定 ・スズキ体育館・グラウンドは新型コロナで7/31より休止 ・磐田グラウンドは賃貸借契約を解除	4

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 40%未満 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上